

KAMI RAKUGO

10-11

A QUARTERLY
MAGAZINE
2009 No.11

TAKE FREE

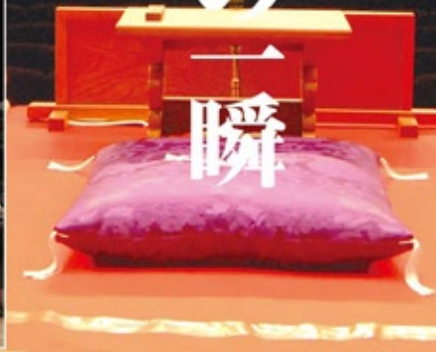
(池田市立上方落語資料展示館)
池田・落語みゆーじあむ

か
み
ら
く
ご
五
枝
桂

桂三枝

8分の邂逅

13分という名の瞬間



【総力取材】

社会人落語^{初代}日本一決定戦

【ファイナリストインタビュー】 決勝八傑語録

【総評】 大会統括 桂 三枝

【新企画】 落語みゆーじあむ 出前寄席

出
場者一覽
【会場】池田市内計5会場
40分

出 場者一覽

【会場】池田市内計5会場

落語みゆーじあむ ～第一部～

- | | |
|--------|------------------|
| 青菜 | 甲家 謙病 (山口純利) |
| 道具屋 | 天満家 一喜 (水上一徳) |
| 狭情風呂 | 越家 押の輔 (伊藤地) |
| 牛ほめ | 福徳亭 わいん (和田直実) |
| 酒の箱 | 猪名川亭 貞車 (藤田千代) |
| 寿限無 | 秋田家 ぼろ巻 (金芳彦) |
| ちりとてちん | 被屋亭 太季楽 (鈴木俊一) |
| 延岡前 | 花の家 ゲイトウ (宮久タイ子) |
| 軒付け | 里山亭 ぼ〜むっど (藤谷一平) |
| 河童 | 大川亭 朝之輔 (藤澤輝) |
| 孝行節 | 圓丁亭 日が巻 (木本建郎) |
| 寿限無 | おきらく亭 すい母 (宮野雅一) |
| 桃太郎 | まっちゃん (藤井友幸) |
| 義眼 | 車家 山四 (藤田昌昭) |
| 婚活net | 喜々亭 っっぷろ (中西潤吾) |

◆委員会 枝あやめ
池田市議会議長 吉本 光夫



公民館A会場 ～第一部～

- | | |
|--------------|------------------|
| 代書屋 | 徳徳亭 八木太蔵 (舟井哲太郎) |
| えびすの鯛 | 末成亭 鈴の助 (木原一徳) |
| 川筋の心(おとこまじり) | 近江家 八景 (河田健) |
| 初天神 | 五月家 建三 (富田健司) |
| 嵐火事 | 石はし亭 やらまめ (山下高寿) |
| 桃太郎 | 米許亭 坊福 (松本貞道) |
| 子ほめ | 栗栢亭 いちば (藤澤輝) |
| 銀婚旅行 | 福々亭 山嵐 (栗田昌昭) |
| 兵庫船 | 高岡 美樹 (高岡美樹) |
| 四郎こわい | 古印亭 勝丸 (藤田昌昭) |
| 子ほめ | 千里家 万馬 (土井隆) |
| 犬の目 | 猪名川亭 なへや (三輪九郎) |
| 鉄砲勇助 | ちゃり亭 山球 (高田みずつ) |
| 熟女たちの宴 | 微笑亭 きん水 (藤井正孝) |

◆委員会 枝文新
池田副市長 川端 敏



公民館B会場 ～第一部～

- | | |
|------------|-----------------|
| 兵庫船 | 遷家 すえ吉 (荒本泰臣) |
| つる | 山金家 文々 (中村文雄) |
| 牛ほめ | 吉野家 半季 (森本龍司) |
| ちりとてちん | 三流亭 紋木 (岡田亨) |
| つり | 天神亭 ひれ虎 (藤本克人) |
| 勘定飯 | 火災亭 珍歌 (藤田健) |
| ろくろ首 | 花の家 どれす (藤田千賀枝) |
| 増飛脚 | 焼酎亭 ハーボン (藤山由郎) |
| 豊竹屋 | 岸の家 すすき (中村朝男) |
| 道具屋 | 天神亭 あら葉 (上釜山紀子) |
| つまようじ | 元 燈籠市民 (池上 幸生) |
| 上欄屋 | 井筒家 礎七 (藤矢健) |
| 子ほめ | 五月家 ちちり (山野三千郎) |
| 目薬 | 東中亭 ちあお酒 (山中温彦) |
| あーした元気になあれ | 渡華家 勝平 (藤田啓久) |

◆委員会 枝文三
日清五ホムルラフン株式会社 佐々木 智



エコ・ミュージアム ～第一部～

- | | |
|--------|------------------|
| 嵐岡前 | いぢこ家 与太郎 (河野泰史) |
| てんしき | 福々亭 快楽 (藤田有徳) |
| 嵐火事 | またき亭 みてい (八木清美) |
| 上欄屋 | 開大亭 笑鬼 (西尾芳彦) |
| つる | すまいる亭 伝ん力 (高岡高孝) |
| 時うどん | にしゃんた (山田じしゃんた) |
| 信風の旅業 | 葉家 きく蔵 (中村幸生) |
| 嵐岡前 | 焼酎亭 ウーロン (西村朝男) |
| 老翁の休日 | ジャンボ 夜笠 (花崎雅也) |
| 紙屑屋 | 美乃 虎や巻 (飯塚龍二) |
| 寿限無 | 三遊亭 山笑 (小谷 昌昭) |
| 無い物無い | 五月家 けい部 (坂口直樹) |
| 十二社序の段 | 浮世亭 ひゃろ (山田和) |
| 鉄砲勇助 | 滋養酒家 如美羅 (山田有喜子) |
| 二人ぐせ | 櫻露亭 茶樹虫 (津野文輝) |

◆委員会 枝三風
佐藤みゆーじあむ五福亭の市街の市道山 隆敏



マグノリアホール ～第一部～

- | | |
|--------|-------------------|
| つる | 焼酎亭 朝日 (いづき隆利) |
| 夢八 | 鳳鈴亭 慶吉 (伊川基子) |
| 時そば | 美乃 鶴飼 (安達友昭) |
| 風呂敷 | 楽し屋 うれ巻 (尾立雅夫) |
| 動物園 | 電音亭 無眠 (井上信吾) |
| 絵本小倉船 | 笑人 (伊本義昭) |
| 酒のカス | たかはし亭 かずきん (高橋和夫) |
| 新・寿限無 | 参遊亭 遊月 (藤田昌昭) |
| 看板の一 | 天満家 豊蝶 (藤野洋一郎) |
| ばあばの反乱 | 五日家 志の朝 (中西善三) |
| 道具屋さん | 天神亭 茂輝 (中村朝男) |
| 子ほめ | 歌謡亭 青二才 (宮野浩) |
| 転失氣 | なまく亭 慕蘭 (藤澤太郎) |
| 河豚鍋 | 浪漫亭 不夜夜 (高井謙太郎) |
| 池田の牛ほめ | 猪名川亭 福麗 (坂田さやか) |

◆委員会 枝三郎
池田市教育委員 藤田 祥子



落語みゅーじあむ ～第二部～

天哭	猪名山亭 けむり (東田武司)
時うどん	キエキエ亭 ゆう亭 (北村真由)
一眼団	黒豆 ぶひこ (田代真知子)
大安売り	河乃 誠鳥 (竹内秀徳)
やかん	元々亭 葉栞 (東方ひとみ)
禁酒番屋	七瀬亭 実楽 (伊藤 伸郎)
動物園	南山亭 弘祐 (深木昌弘)
豊竹屋	天満亭 湖光 (西郷 逸彦)
愛宕山	評亭 北枝 (北条 幸)
6月30日開演になる	鹿嶋亭 榎右衛門 (本宮 俊郎)
鹿政談	まらまら 丸多 (藤田 隆)
がまの油	二松亭 ちゃん亭 (金田 雅)
子ほめ	千里亭 一福 (土井 正樹)
痛風の虫	酒飲亭 いぶん (小橋 伸一)
鶴池の犬	天満亭 ゆう亭 (三宅 雄二)

公民館A会場 ～第二部～

七段目	和奏伎亭 三味 (三島 浩一)
出来心	すまいる亭 千鳥 (本間 尚)
アニマルセラビー	亮亭 つぶ丸 (柳原 嘉久)
犬の目	尼乃亭 河鹿 (加賀見 真実)
不精篇	祝院亭 松亭 (柳田 忠彦)
松山鏡	五尺坊 申志 (岩村 伸)
加賀の千代	田舎亭 かか (伊藤 幸郎)
小喧私とボリオ	福々亭 実六法 (村越 徳郎)
平林	蜂雀亭 すず雄 (石井 隆)
野ざらし	東家亭 三三生 (栗原 順)
「お笑い年金相談大福	ボエム亭 楽生 (上野 剛治)
たらちね	花伝亭 水火 (金本 義)
子ほめ	天神亭 舞丸 (柳川 雅夫)
たけのこ	四実亭 実亭 (田代 龍平)
誕生日	関大亭 6丸 (橋本 泰寿)

公民館B会場 ～第二部～

大安売り	猪山亭 もん吉 (高岡 政晃)
私の日常	弥丸亭 地車 (山本 邦)
道貝屋	岡町亭 つらくら (西澤 康二)
ちりとてちん	五月亭 月光 (鈴木 久三)
旅の顔	秋風亭 てい柳 (仲 博哉)
商売相談	新宮亭 当り目 (中嶋 豊)
掛け取り	夜の家 結之助 (本末 正樹)
観子酒	花伝亭 水演 (高橋 唯子)
寄合酒	浪漫亭 東舞 (田川 裕彦)
動物園	大塚亭 嘉留 (万賀 豊)
道言	柳亭亭 やんま (上原 裕太)
歩く百ワット電球	めすら! 家 芝楽 (尾形 敏三)
みどりの窓口	春日亭 みっち (児島 あみ子)
十徳	森留亭 ぶっく (土田 昌彦)
源太と見貴	狸點亭 ぶぶん (田友 和生)

エコ・ミュージアム ～第二部～

時うどん	春歌亭 丹馬 (田中 久典)
子ほめ	天神亭 愛理 (神前 愛)
普請ほめ	日向亭 英 (柳川 秀俊)
代り目	奇々亭 眞足 (正久 美津人)
うどん屋	山朋亭 山生 (山本 克弘)
皿屋敷	賑わいの亭 葉栞 (西川 純子)
婚活 net	三遊亭 恋生 (千塚 雄輔)
目撃	鏡手亭 成丸 (佐々木 友彦)
青菜	猪名山亭 葉栞 (伊藤 幸郎)
初天神	爪田家 威凛 (津田 幸樹)
禁酒問所	浪花亭 寅吉 (守宮 義三)
代書	賑わいの亭 正之助 (石石 正人)
悲しい犬やねん	進家 梨沙 (亀谷 梨沙)
狸寅	生駒亭 文彦 (田野 文夫)

マグノリアホール ～第二部～

100年に1度の天下取巻 生き抜く男達	花伝亭 フルー (高木 秀徳)
上願屋	柱 実福 (田代 龍平)
子ほめ	遊人亭 はん亭 (久次 孝平)
青菜	藤乃亭 美里 (加藤 祐基子)
ふく嶺	四実亭 ○丸 (宮下 明彦)
普段の袴	鹿嶋亭 春木 (土田 正樹)
開顔こわい	賑わいの亭 六つ葉 (西川 純子)
謀長島子字作	万年堂 ぶぶん (西田 雄二)
抜け雀	猪名山亭 銀れ音 (岡家 敏男)
見玉家の人々教育論編	はやお亭 貞九郎 (児玉 定規)
持多金	橋亭 葉茶太郎 (鳥渡 雄二)
子ほめ	おゆへん (高田 あゆみ)
蛇含草	表現亭 乱坊 (高野 我史)
テーベテン	銀杏亭 七福 (原 啓功)
一眼団	せむが家 恵ん金 (橋井 和夫)

祝 満員御礼

各会場は大入り満員。予選を行った池田市内計5会場全てが、立ち見となるほどの盛況ぶり。大きな笑い声と熱い声援が飛び交う中、全国約150名の社人落語家による好演が繰り広げられました。

またそんな皆様をお迎えすべく、池田の駅前公園には、総勢20の屋台が集結。ステージでは楽しい音楽イベントが開かれ、お祭りを盛り上げました。

お祭り広場

★出演アーティスト★

- 「Green Green Peace」
- 「尺八演奏／松本太郎」
- 「三線／ヤギフミトモ」
- 「和太鼓～疾風～」

★出店の皆様★

- 日清キッチンカー
- 関西電力「オール電化」祭り
- 落語みゅーじあむ
- いらっしゃい亭
- カイフードサービス
- 宝塚ホテル
- 似顔絵
- 豊島レモン
- たこ焼工房 Sea&Sun
- いけだ3C
- ショップ・ダン
- 凡場(ボンバー)
- パティスリーヤマキ
- おたな展示ブース
- こいし歯科
- ロッソビーンズカフェ
- 御菓子司香月
- 北摂美味処嘉づ家

★ボランティアの皆様★

50名



Finalist Interview



【日時】
平成 21 年 8 月 15 日 (土)

【会場】
池田市民文化会館 アゼリアホール

【審査員】
桂 三 枝 (上方落語協会会長)
桂 春之輔 (上方落語協会幹事長)
藤本 義 一 (作家)
難波 利 三 (作家)
倉田 薫 (池田市長)

【特別公演】
暁 照 夫

初代名人決定戦 決勝八傑語録。

大会を最後まで盛り上げた決勝戦、ファイナリスト8名へのインタビューをもとに大会を振り返ります。そして、それぞれの次なる目標は……。

「三枝師匠をして「あれには勝てまへんで」と言わしめたマクラは、「全部、実話」。母国スリランカで放送された日本ド라마や教育番組を見て育ち、日本に憧れた少年は、反対する両親を説き伏せ日本へ。日本語学校を卒業後は大学へ進学し、経済学博士号を取得した。大学教員として授業や講演に励むかたわら、タレント活動もこなす日々。「今では、どこまでがスリランカで、どこからが日本人なのか分りません」と笑う。落語に興味をも

つたのは、話し言葉におさまられた独特の「間」だという。さっそくゼミの学生を相手に練習を始めた。本人もまさかの予選通過とにかく大きく演じることを心がけた決勝の舞台。会場は大きな笑い声に包まれた。堂々2位、の気になる賞金の使い道は「妻に渡したんですが、自宅の壁に空の封筒が飾ってありました」。準優勝に恥じない社会人落語家として、人権や経済など、難しいテーマをわかりやすく伝えることのできる「業」語家になりたい。



準優勝

にしやんた
(J・A・T・Dにしようと/39歳)

「時うどん」

本業はラーメン屋さん。学生時代は落研に所属し、古典落語一本やり。その後、春風亭小朝師匠に憧れることで自身も創作を作り始めた。その数は、高座にかけたものだけで約30本。有名な落語台本コンクールでも最優秀を受賞した。しかし、今大会はなぜか「絶対落ちる！」と確信していたため、周囲には内緒で大会に参加。その心細さも手伝ってか、予選の結果発表時も、「駅のコインロッカーに荷物をまとめて帰る準備してたんです」。

その開き直りが功を奏した決勝の舞台は、とにかく楽しむことを最優先に楽しすぎて時間切れとなったが、結果は見事3位。「創作落語と同じくらい好きなマクラで、大阪の人から笑いがとれた」と、本人納得の出来。「地元に戻って、ここぞとばかりに自慢しました」。ちなみに普段は、愛知県豊橋の天狗連で活動中。決勝は途中でネタを終えたため、「オチが気になる」との声にこたえるためにも、今後多くの高座にチャレンジしたい。



第三位

微笑亭さん太
(横井 正幸/44歳)

「熟女たちの宴」

喜々亭 べいごろう

(中西則善/33歳)

×

「婚活net」



枝 雀落語が大好きだった少年時代。当時流行のウォークマンに入れた、お気に入りのカセットも落語だった。大学卒業後は、憧れだったアナウンサーの世界へ。フリーのアナウンサーとして仕事をこなす中で、「周りは一芸に秀でた人ばかり。自分も何か、人前で演じることができないか」そんな燃ゆる思いを創作落語にぶつけた。自身初の創作が完成したのは大会1週間前。カラオケボックスで特訓に励み、予選会が初のお披露目。タキシード姿での参加も、「着物の用意が間に合わなくて、せめてアナウンサーとしての正装で」との次第。今後、落語を通じて学んだことを仕事に活かせば、誰もしたことのない対象を相手に、実況に挑戦したい。

たかほし亭 かずひろ

(高橋和夫/75歳)

×

「京の茶漬」



小 さい頃から落語が好きで寄席宝塚小劇場で、桂文團治や若かりし四天王に出会い、嘶家を志したことも。「ただ、それで飯の食える時代やなかった」。その後、宝塚映画の大部屋俳優を経て、映画やTV番組の制作者としての道を歩んだ。落語との再会は6年ほど前。妻や友人と共に笑い一座を結成し、現在も各施設で好演中。「本物のお囃子にのって出た決勝の舞台には、何とも言えん感動がありました」「ええ格好と違うんですが、一度してみたかったんです。あの、マクラのあと、ふわっと羽織を脱ぐの」。独学で育てた落語が実を結んだ瞬間だった。長年の夢を築きながら、これからは高座に上がり続けたい。

春日家 みちち

(兒島みち子/48歳)

×

「みどりの窓口」



普 段は銀行員として外回りの営業を担当。「落語やってる銀行員といえば、地元ではちよっとした有名な人です」と朗らかに話す。車中での練習が日課なんだとか。落語との出会いは、演じることから。3年前、県の芸術フェスティバルの企画で参加した落語場で、落語の難しさ、奥の深さ、またそれ以上に人を笑わせることの快感を知った。大会への出発前、仲間の手による8分だけの落語会に勇気づけられ、とにかく楽しむことを考えて演じた予選会。自分でも予期しなかった決勝進出と、その舞台では、さすがに喉がカラカラに渴きました。大会後、仲間たちが開いてくれたファイナリストとしての凱旋公演が最高のプレゼント。

南山亭 弘祐

(深水昌弘/33歳)

×

「動物園」



落 語を始めたのは1年前。大阪の落語教室に通い出し、人前で演じたのは予選会で2回目のお坊さん落語家。なんでも冬場、積雪の深い高野山では車が動かないので、春を待つ練習を始めたのだとか。以前TVで見た桂文三師匠の動物園を演じてみたいと、大会のために猛特訓。決勝の舞台へ「まさか自分が残れるとは……」と、ただただ驚きと緊張でいっぱい。「正直、ふわふわと浮いたような感じで訳がわかりませんでした」と話す。一番忙しいお盆での大会参加にも関わらず、高野山の同僚たちからは暖かい祝福を受けたそう。将来の目標は、お坊さんの話し(説法)で笑ったり泣いたりできる、そんな創作落語を作ってみよう。

市長賞

東家 三郎生

(柴典昭/45歳)

×

「野ざらこ」



大 会を振り返り、「皆さん、それぞれが持つ落語観に感動しました。大学では落研に所属。中学の国語の先生を経て、現在は母校の高等教師を勤める。学校ではホームルームや文化祭などで落語を披露することも度々。「いま声と同じになったよ」急に話が早くなった」と、所作が見えない生徒ならではの意見に、新しい落語観が開けたという。大会では、妻からのお墨付きを得た、野ざらしを正直に演じた。楽しみにしていた市長賞のチキンラーメン1年分は、「そんなアドバイスをくれた生徒たちと分けました。ちなみに4歳になる娘も落語を勉強中だそう。親子で敬老会などの地域のイベントに出演するのが、現在の目標。」

夫 婦で営む飲食店の女将。ウリはもちろ
ん、ご亭主のつくる旨い肴と女将の笑
顔だ。そんな彼女の落語との出会いは大学
時代。当時、全盛だったお笑いブームに憧
れ、落研に。

とにかくお笑いが好きで、落研に入って、
結果、友達と漫才を始めたんです。少しブ
ロを目指していた時期もあって、いけるか
なという時もあったんですけど、最後の一
歩がでなかったんですね。大学卒業ととも
に漫才も落語も封印してしまっ、旅行会
社に就職しました。

結婚後は会社を退職し、主婦に子育てにと、
落語とは無縁の忙しい日々。そんな折、NH
Kで落語を題材にした朝の連ドラが放送さ
れる。

私も昔こんなんやってたとか、ひよっと
すると主人公の女の子より私の方が上手い
ぞとかね(笑)。で、ちょうどその頃、落語
みゅーじあむでアマチュア落語の講座が始
まって。これは「やれ」って言われてるんか
なと、導かれるように入門しました。で、
やってみたら昔とは全然感じが違って、と
にかく楽しい。子ほめでもね、学生の時と
は全く違うんです。これは年を重ねて、い
ろんな経験を つんだ結果かなと思います。

地元で行われる初めての大会。出場にあた
って、多くの人の声援が、時にはプレッシャ
ーになったこともあったのだとか。

大会に出るプレッシャーが凄くて、落語
が楽しくなくなった時期もありました。応
募から大会までけつこう日がありましたし
ね。でも途中、子ども会に呼んでもらって
その時、みんなリラックスして聴いてくれ
てね、落語の出来もよくて大爆笑だったん

Finalist Interview



初代名人

(南野 三千世 / 47歳)

五月家 ちろり×「阿弥陀池」

です。それで、私のやりたかったんはこれ
や。大会で賞を狙いに行くのが私の落語と
違う、ただ落語を聴いて笑ってもらおうこと
なんやと気付いたんです。

地元ならではの暖かい声援に包まれて、予
選を突破。決勝の出演順では、見事(？)一番
くじを引き当てた。

ビックリしました。でも、これはもう楽
しみなアカンと。緊張もしましたけど、こ
んなチャンス滅多にないし、一生に一度あ
るかないかの舞台やし、めっちゃ気持ちよ
かったです。

発表の瞬間は、絶対自分じゃないと思っ
てたんですよ。それよりも、大会後の打ち
上げのことが心配で。ビール足りるかなと
か、たこ焼きは時間通りになるかなとか…。

で、全然気付かなくて周りキョロキョ
ロしてたら、みんながこっち見てる。
客席の家族も飛び上がってるし、「あっ、
私や」って。

古典落語をつかって、日常を見事に描
き出されたちろりさん。優勝は、今で
も信じられない様子。大会を振り返っ
て、現在の心境はどのようなものなの
か。

あと一歩踏み出していたら、自分もブ
ロになっていたかも、という思いもど
こかにあったのかもかもしれません。ま
あでも、根っからお笑いが好きですか
ら。この年になってあんな経験ができ

るなんて、そうあるものではないし、
そんな喜びが舞台に出たんやと思いま
す。

ただ、この大会は社会人として落語
を競う場ですけど、その前に、自分の
経験とか普段の生活を、落語を通して
どれだけ表現できるかという所がある
と思えました。それだけに日頃の生活
をきちんとしていかなあかんなど、強
く感じています。

自身の落語会は、年に2回、地元で落
研時代の仲間たちと開催中。今後はそ
れ以外にも、敬老会や子ども会など、多
くの場所で落語をしていきたいと話す。



(2009年9月4日 / 池田落語みゅーじあむにてインタビュー)

今回が初となる大会には、全国から大勢の社会人落語家のみなさまにお越し頂きました。初めての大会が、無事、盛況のうちに終えましたことを、ここにお礼申し上げます。

決勝戦の舞台は、とにかくレベルが高かったというのが正直な感想です。それゆえ、審査も難航いたしました。ただ、この大会をどのようにとらえるかについて、わたし自身は、プロに一番近い人を決めるのではなく、社会人として落語をどのようにとらえているかに注目しました。社会人にしかできない落語は必ずあります。それぞれの日々の生活や、仕事の経験を活かして話されるというのは、プロにはできないことですから。

そんな中、見事、優勝されたのは五月家ちろりさんでした。現代社会における女性の明るさ、たくましさを発揮さ



総評

大会統括 桂三枝



(※桂三枝師匠によるお話をもとに文章を構成)

れるとともに、改めて大阪のおぼちゃんパワーを実感致しました。またスリランカ出身のにしゃんたさんが2位になり、日本一決定戦がワールドワイドな模様を呈したのも、おもしろかったです。

今後大会が成長し、より社会人落語が盛り上がることで、また我々プロにとってもいい刺激になればと思います。今回の大会を見て、わたしも参加したいなと思われた方もいるかと思えます。

来年も、みなさま奮ってのご参加を大いに期待しております。

大会データ

来年も、お会いしましょう

◆演目上位ランキング

- 一位 「子ほめ」
- 二位 「道具屋」
- 三位 (同列)
- 「牛ほめ」「時うどん」
- 「ちりとてちん」「つる」
- 「延陽伯」「寿限無」
- 「上爛屋」「酒の粕」
- ※その他創作落語 17 点

◆年齢別/男女別エントリー

- 20代 14名
- 30代 29名
- 40代 46名
- 50代 40名
- 60代 17名
- 70代 3名
- 80代 1名
- 男性 117名/女性 33名

◆都道府県別エントリー

北海道 1名	山梨県 1名	岡山県 1名
青森県 1名	岐阜県 1名	広島県 5名
山形県 1名	静岡県 2名	徳島県 1名
福島県 1名	愛知県 2名	香川県 1名
茨城県 1名	三重県 3名	愛媛県 2名
栃木県 1名	滋賀県 3名	福岡県 4名
埼玉県 3名	京都府 8名	熊本県 1名
千葉県 3名	大阪府 60名	大分県 1名
東京都 15名	兵庫県 16名	沖縄県 1名
神奈川県 2名	奈良県 4名	
福井県 2名	和歌山県 2名	合計 150名

◆8/16 (日)

上方大落語会 演目一覧

- 林家 染左 「つる」
- 桂 文三 「芋どろ」
- 桂 米團治 「掛け取り」
- 桂 春團治 「祝いのし」
- 桂 文 珍 「風呂敷」
- 桂 三 枝 「赤とんぼ」

◆会場観客総数

予選 5会場	2377名
決勝会場	950名
合計	3327名

【主催】社会人落語日本一決定戦実行委員会/池田市制施行七十周年記念事業

【協力】社団法人 上方落語協会 【後援】大阪府/池田ライオンズクラブ

【協賛】日清食品株式会社/JAL日本航空/ANA/キリンビール株式会社/関西電力三国営業所/ホテルプラザオーサカ/藤井電気株式会社/龍門商事株式会社/株式会社播万/逸翁美術館/小伏竹村

出前寄席



この秋、落語みゅーじあむから“笑”撃の新企画が誕生!

平成19年より始まった落語みゅーじあむでの、アマチュア落語講座。
現在第3期目を迎え、熱心で、いきのいいアマチュア落語家が揃いました。

そこでついに、アマチュア落語講座の受講生による、**出前寄席**が始まります。

生で落語を見たことがない人や、寄席に行くことができない人も。
自前の落語会を開催して、私たちと一緒に落語を楽しみませんか?
個性豊かなアマチュア落語家があなたのもとに、笑いを届けに参ります。
手作りの高座、大歓迎! 場所や会場の大きさ、演目や木戸銭の有無等、
分からないことは何でも、気軽にご相談ください。

お申し込みをお待ちしております!



落語みゅーじあむ TEL 072-753-4440 FAX 072-753-4447



落語みゅーじあむ イベントスケジュール Event Schedule [2009.10-11]

神無月

10月3日(土) 10時~12時
第1期アマチュア落語講座(中の上級)

【休館日】6日(火)

10月10日(土) 14時~
第35回 落語みゅーじあむ寄席

露の団娘 「商売根問」
桂 三金 「二人ぐせ」
桂 米左 「らくだ」

【休館日】13日(火)

10月17日(土) 10時~12時
第3期アマチュア落語講座(初級)

【休館日】20日(火)

10月24日(土) 10時~12時
第2期アマチュア落語講座(中級)

【休館日】27日(火)

【お知らせ】
10月31日(土)~11月3日(火)まで、
文化ターのため10時開館

霜月

【代休館日】4日(水)

11月7日(土) 10時~12時
第3期アマチュア落語講座(初級)
第2期アマチュア落語講座(中級)

【休館日】10日(火)

11月14日(土) 10時~12時
第1期アマチュア落語講座(中の上級)
11月14日(土) 14時~
第36回 落語みゅーじあむ寄席

桂 福若 「居酒屋」
桂 丸福 「淀川」
桂 福園治 「数入り」

【休館日】17日(火)

11月21日(土) 10時~12時
第3期アマチュア落語講座(初級)

【休館日】24日(火)

11月28日(土) 10時~12時
第2期アマチュア落語講座(中級)
第1期アマチュア落語講座(中の上級)



〒563-0058 大阪府池田市栄本町7-3
電話: 072-753-4440 FAX: 072-753-4447
開館時間: 11時~19時

休館日: 火曜日、年末年始 ※火曜祝日の場合、翌日休館
入館料: 無料 (落語会などは木戸銭が必要です)
※専用駐車場はございません。



最寄駅: 阪急電車宝塚線「池田駅」下車
(阪急梅田駅から急行で約20分)
改札を出て栄町方面へ徒歩約7分